# 令和4年度

国保事業費納付金等の算定について

### 納付金算定のイメージ

市町が県に納める納付金は、県全体で必要となる納付金総額に各市町の所得シェアや被保険者数シェア、医療費水準などを反映させて算定する。

#### ①県全体の納付金算定

医療費等の支出見込みから公費等の収入見込みを控除して必要となる納付金総額を推計

<県全体の国保財政収支見込み>

(支出) (収入)

保険給付費 (医療費等) 公費等収入

県全体で必要な 納付金総額

#### ②応能分と応益分に按分

- ・納付金総額を所得に応じて配分する応能分と人数・世帯数に応じて配分する応益分に按分
- ·按分の比率(応能:応益)は、β:1

<県全体で必要な納付金総額>

(応能分)

(応益分)

標準のβを使用 (愛媛は約0.7)

β(所得係数)

1

#### ③市町ごとの納付金算定(下図は3方式の場合)

- ・応能分は市町ごとの所得シェア(市町ごとの所得総額/県全体の所得総額)に応じて配分
- ・応益分は市町ごとの被保険者数シェアと世帯数シェアに応じて配分

(応能分) (応益分) 所得シェアで配分 被保険者シェアで配分 世帯シェアで配分 (所得割) (均等割) (平等割) Aπ ВĦ CIT A市 B市 CI A市 B市 C町 7 3

・3方式を採用

・均等割と平等割 の比率は7:3

#### ④市町ごとの医療費水準の反映

- ・医療費水準の低い市町の納付金の額は減額
- ・医療費水準の高い市町の納付金の額は増額
- 医療費指数反映係数(α=0~1)で医療費水準反映させる程度を調整

医療費水準の差を 最大限反映(α=1)



[医療費水準の想定]

A市:医療費水準(低)、B市:医療費水準(高)、C町:医療費水準(平均)

#### 【参考】

#### 《市町ごとの納付金の算定式》

県全体の納付金総額× $\{1+\alpha\times(年齢調整後医療費指数-1)\}\times(\beta\times 所得シェア+人数シェア)/(1+\beta)\times\gamma$ 

#### α(医療費指数反映係数)

納付金算定において、市町の年齢調整後の医療費水準をどの程度反映させるかを調整する係数

※α=1・・・年齢調整後の医療費水準を納付金の配分に全て反映

lpha  $\alpha = 0 \cdots$  医療費水準を納付金の配分に全く反映させない

#### **B**(所得係数)

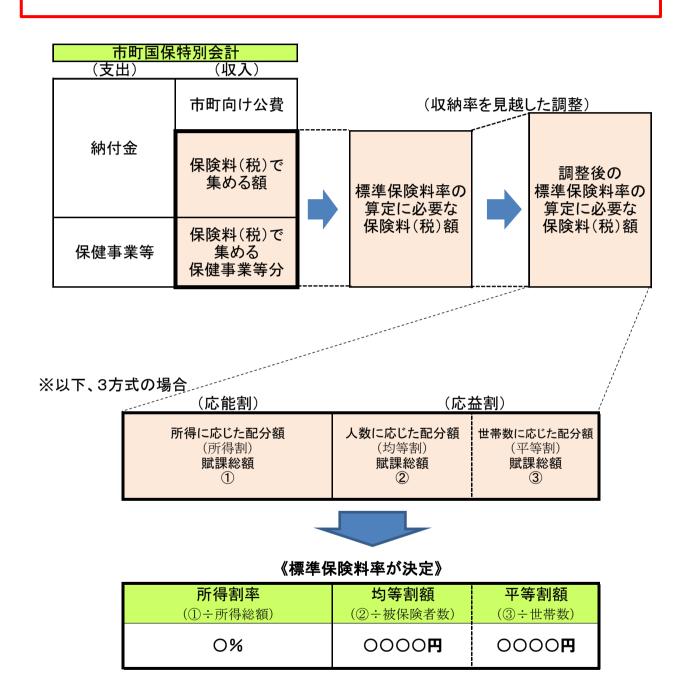
納付金及び標準保険料率の算定において、所得等に応じた配分(応能)と人数等に応じた配分(応益)の割合を調整する係数(応能:応益= $\beta$ :1)

#### $\gamma$ (調整係数)

市町ごとの納付金の総額を県全体の納付金総額に合わせるための調整を行う係数

# 県内統一の標準保険料率設定イメージ

県が算定した納付金の額に市町独自の事業(保健事業や任意給付など)に要する経費や市町に直接交付される公費等の収入を加減し、保険料として集めるべき額を算定、その額を賦課方式に当てはめて、標準保険料率を設定する。



#### (参考)

- 上記の県内統一の標準保険料率に加え
  - •各市町の現状の算定基準に基づく標準的な保険料率
- ・全国統一の算定基準に基づく都道府県標準保険料率(都道府県比較)についても設定する。

# 令和4年度 納付金等算定の前提条件(その1)

市町ごとの納付金額及び保険料必要額の算定については、下記の前提条件のとおり行った。

#### 《納付金試算の前提条件》

αの値	<b>α</b> の値 <b>β</b> の値		均等:平等
$\alpha = 1$	β=標準	3方式	7:3

#### 《保険料必要額試算の前提条件》

- 令和4年度の保険料必要額(本来、保険料で集めるべき額)を算定
- 市町ごとの年齢調整後の医療費水準、所得水準等を反映
- 令和4年度に予定されている1,700億円(全国ベース)の公費をすべて反映
- 決算補填目的の一般会計からの法定外繰入等は行っていない前提
- 前期高齢者交付金の精算により追加交付となった5億円を留保(詳細は、下記参照)
- 保険料水準が、一定割合を超えて増加する市町に対しては、超過部分を減額する激変緩和措置を実施

#### ○前期高齢者交付金について

前期高齢者交付金は、概算額が当該年度に交付され、2年後に確定した額に基づき、過不足額を精算することとなっている。

当該年度前期高齢者交付金 = 当該年度概算額+前々年度(2年度前)精算額

交付額の年度別推移

(億円)

		H30	H31	R2	R3	R4
概算額		479	472	488	509	492
	精算額	9	△ 11	12	34	5
	うち留保額			12	17	5
	合計	488	461	500	543	497
-	対前年差額	△ 19	△ 27	39	43	△ 46

- ◆前期高齢者交付金は、年度間の変動が激しく、市町の納付金額にも大きな影響を与えている。
- ◆ 年度ごとの収支均衡を原則としながら、将来を見据えた財政運営が求められている。 □

令和4年度は、精算により追加交付される5億円を、国保特会に留保(納付金 算定から除外)することで、将来、市町の納付金額が、年度間で大きく変動した 際の激変緩和財源として活用する。

#### 《標準保険料率の設定条件》

βの値	賦課方式	均等:平等
β=標準	3方式	7:3

# 令和4年度 納付金等算定の前提条件(その2)

#### 1 医療費等の推計

令和4年度において県全体で必要となる医療費等については、令和2年3月~令和3年8月までの実績伸び率の推移を踏まえて推計を行った。

保険給付費(医療費)	1,090 億円
後期高齢者支援金	173 億円
介護納付金	62 億円

#### 2 国費等の収入見込み

令和4年度の国費等収入額については、国から提示された係数等を踏まえて以下のとおり見込んでいる。

前其	高齢者交付金(納付金算定への算入分)	492 億円
国	費	412 億円
	定率負担	247 億円
	普通調整交付金	111 億円
	高額医療費負担金	11 億円
	保険者努力支援制度交付金(県分)	5 億円
	保険者努力支援制度交付金(市町分)	6 億円
	その他	32 億円
県	費	84 億円
その	D他	3 億円

## 保険料負担の激変緩和措置について

平成30年度の国保制度改革の本格施行によって、追加公費が投入(1,700億円)されたため、国保制度改革前に比べると、保険料の上昇抑制効果が期待される。

ただし、制度改革前は、市町の医療費や前期高齢者割合などに応じ、市町個別に交付されていた公費等が、平成30年度以降、財政運営の仕組みが変わる(納付金方式の導入等)ことによって、市町によっては公費等の収入が減少し、保険料負担が大きく増加する場合がある。



このため、制度改革によって被保険者の保険料負担が急増することがないよう、<u>以</u>下①~③のとおり重層的な激変緩和措置が講じられている。

#### ①国の激変緩和財源の活用

国から提示された本県配分額(約1.6億円)



#### ②県繰入金の活用

県の公費負担(給付費の9%相当)の一部を激変緩和に活用

※激変緩和に活用した分、繰入金本来の使途が減少



#### ③財政安定化基金の活用

②による激変緩和を行った場合、激変緩和用特例基金(R5年度までの時限措置)を 活用して繰入金減少分を補填

※愛媛県における激変緩和用特例基金(約1.2億円)を活用(取崩)

#### ※激変緩和の対象となる市町

県は、医療費の自然増等を考慮した一定割合を定め、市町ごとに平成28年度(国が定める激変判定の基準年)と令和4年度の1人当たり保険料必要額の丈比べを行い、一定割合を超えて増加する市町に対し、激変緩和措置を実施する。

○令和4年度納付金算定では、一定割合を2.5%に設定

#### 激変緩和の丈比べにおける一定割合(自然増+δ)の設定

<i>-</i> -				医療給付費等	一般	1人あたり	/± = × ===							
年度	医療給付費	後期高齢者支援金	介護納付金	(円)	被保険者数 (人)	給付費等 (円)	伸び率							
26	107,645,099,305(年報)	19,142,380,268 (確定額)	8,209,234,530 (確定額)	134,996,714,103	357,520	377,592	-							
27	111,427,555,787(年報)	19,386,868,629 (確定額)	7,559,723,034 (確定額)	138,374,147,450	349,704	395,689	4.79%			伸て	「率の平	均值		
28	109,725,577,456(年報)	18,774,050,904 (確定額)	7,137,854,902 (確定額)	135,637,483,262	339,611	399,391	0.94%		•••••					
29	108,034,779,515(年報)	18,739,676,336 (確定額)	6,857,635,840 (確定額)	133,632,091,691	328,087	407,307	1.98%							
30	107,914,850,044(年報)	18,495,912,992 (確定額)	6,420,116,864 (確定額)	132,830,879,900	319,811	415,342	1.97%							2.3%
31 (R1)	108,903,528,537(年報)	18,655,615,245 (確定額)	6,322,155,298 (確定額)	133,881,299,080	309,952	431,942	4.00%					2.1%	1.9%	2.3%
R2	104,872,119,153(年報)	18,016,293,960 (確定額(推計))	6,607,219,794 (確定額(推計))	129,495,632,907	302,708	427,791	-0.96%			2.1%	2.1%	2.170		
R3	109,750,116,887(推計)	17,934,601,327 (決定額) (概算+精算)	6,337,053,108 (決定額(推計)) (概算+精算)	134,021,771,322	293,720	456,291	6.66%	2.7%	1.5%	2.170				
R4	108,964,170,772 (推計)	17,286,286,975 (決定額(推計)) (概算+精算)	6,177,959,836 (決定額(推計)) (概算+精算)	132,428,417,583	294,167	450,181	-1.34%	2.170						

#### ※ 医療給付費(年報値)は、支払義務額(年報B表(1)(続))から算出

- 都道府県は、激変緩和措置の基準として、毎年度、一定割合(自然増+δ)を設定することとされている。
- 各市町の標準保険料率の算定に必要な保険料総額(e)が一定割合以上増加すると 見込まれる場合には、激変緩和財源を活用して当該市町の納付金総額を減額することで激変を緩和する。

#### 【令和4年度納付金算定算定における一定割合】

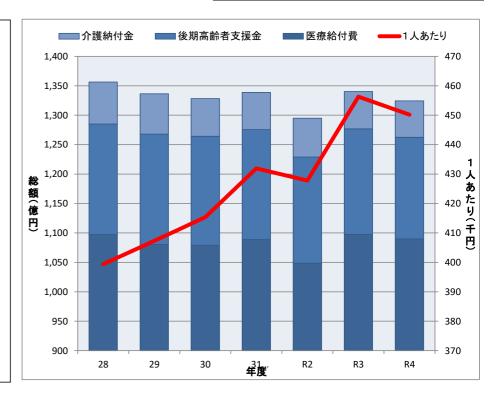
- 一定割合 (2.5%) = 医療費等の自然増 (2.1%) +  $\delta$  (0.4%)
- (参考) 令和3年度
- 一定割合(2.8%) = 医療費等の自然増(2.7%)+δ(0.1%)

#### <自然増:2.1%>

昨年度と同様、医療給付費のほか、後期高齢者支援金及び介護納付金も含めた全体の給付費等の1人あたり金額の伸び率を踏まえ設定。激変緩和の基点となる28年度から令和4年度までの平均伸び率である2.1%とした。

#### <δ:0.4%>

一定割合を自然増とした場合、国の激変緩和財源(約1.6億円)では、激変緩和必要額を賄うことができなかったため、令和5年度まで活用可能な県特例基金の1/2以内(約1.2億円)収まるよう、 $\delta = 0.4\%$ を設定することとした。



## 令和4年度 保険料必要額等の算定結果

令和4年度の県内市町国保の保険料水準を算定した結果、1人当たり保険料必要額は、県平均で103,781円となり、基準年の28年度(94,077円)と比較して、1年当たり1.6%の増。

#### 1人当たり保険料必要額

H28年度	<b>R4年度</b>	対28
(基準年)	(対28増減額)	単年増減率
94,077	<b>103,781円</b> (+9,704円)	+1.6%

#### (参考) 1人当たり給付費等

H28年度	<b>R4年度</b>	対28
(基準年)	(対28増減額)	単年増減率
399,391	<b>450,181円</b> (+50,790円)	+2.0%

#### ○市町別納付金及び保険料必要額の状況

			R4年度	納付金			
激変	市町名	(激変緩	和前)	(激変緩和後)			
緩和対象		(d) 納付金総額 (千円)	1人当たり 納付金額 (円)	(d) 納付金総額 (千円)	1人当たり 納付金額 (円)		
0	松山市	13,208,898	129,008	13,084,394	127,792		
	今治市	4,424,226	125,382	4,424,226	125,382		
	宇和島市	2,582,309	125,880	2,582,309	125,880		
0	八幡浜市	1,400,518	156,064	1,385,935	154,439		
	新居浜市	2,946,566	131,098	2,946,566	131,098		
	西条市	3,032,384	131,300	3,032,384	131,300		
	大洲市	1,294,200	130,556	1,294,200	130,556		
0	伊予市	1,036,066	128,640	987,903	122,660		
	四国中央市	2,196,963	136,254	2,196,963	136,254		
0	西予市	1,160,305	123,687	1,153,091	122,918		
	東温市	891,927	130,532	891,927	130,532		
0	上島町	221,132	129,090	207,178	120,944		
	久万高原町	268,894	125,300	268,894	125,300		
0	松前町	831,886	132,340	789,714	125,631		
0	砥部町	587,791	122,329	582,991	121,330		
	内子町	498,094	123,169	498,094	123,169		
	伊方町	343,144	126,996	343,144	126,996		
	鬼北町	275,948	108,641	275,948	108,641		
0	松野町	110,674	112,818	90,582	92,337		
	愛南町	723,350	113,699	723,350	113,699		
県	:全体	38,035,274	129,101	37,759,791	128,166		



# 市町の直接収入を減算 ・安定化支援事業(地財措置)・基盤安定繰入金(支援分)・保険者努力支援制度等

ŀ	(激変級	≤±□ <del>**</del> * /	/ ink att 45	<u> </u>				
		支个以 月リノ	(激変緩和後)					
	(e) 保険料 必要総額 (千円)	1人当たり 保険料 必要額 (円)	(e) 保険料 必要総額 (千円)	1人当たり 保険料 必要額 (円)				
	10,971,978	107,161	10,847,474	105,945				
	3,359,602	95,210	3,359,602	95,210				
,	2,134,974	104,074	2,134,974	104,074				
	1,175,843	131,027	1,161,260	129,402				
	2,301,610	102,403	2,301,610	102,403				
	2,432,632	105,331	2,432,632	105,331				
	1,024,437	103,343	1,024,437	103,343				
	867,425	107,701	819,262	101,721				
	1,731,420	107,381	1,731,420	107,381				
	916,523	97,700	909,309	96,931				
	747,141	109,343	747,141	109,343				
	200,819	117,232	186,865	109,086				
	211,846	98,717	211,846	98,717				
	707,341	112,527	665,168	105,818				
	487,877	101,535	483,077	100,536				
	411,417	101,735	411,417	101,735				
	276,729	102,416	276,729	102,416				
	221,763	87,308	221,763	87,308				
	97,568	99,458	77,476	78,977				
	572,151	89,933	572,151	89,933				
	30,851,096	104,716	30,575,613	103,781				

#### 1人当たり保険料必要額の基準年(H28年度)との比較

激変		28年度	激変	を緩和措置な	L	激変緩和掉	昔置(一定割	合2.5%)
₩ ₩ ₩ ₩ ₩	市町名	(基準年)	R4年度	変動額	単年伸び率	R4年度	変動額	単年伸び率
対象	1,000	(円)	(円)	(円)	(%)	(円)	(円)	(%)
		1	2	2-1		②'	@'-①	
0	松山市	91,363	107,161	15,798	2.7	105,945	14,582	2.5
	今治市	95,180	95,210	30	0.0	95,210	30	0.0
	宇和島市	97,461	104,074	6,613	1.1	104,074	6,613	1.1
0	八幡浜市	111,593	131,027	19,434	2.7	129,402	17,809	2.5
	新居浜市	93,098	102,403	9,305	1.6	102,403	9,305	1.6
	西条市	94,654	105,331	10,677	1.8	105,331	10,677	1.8
	大洲市	97,435	103,343	5,908	1.0	103,343	5,908	1.0
0	伊予市	87,720	107,701	19,981	3.5	101,721	14,001	2.5
	四国中央市	99,180	107,381	8,201	1.3	107,381	8,201	1.3
0	西予市	83,590	97,700	14,110	2.6	96,931	13,341	2.5
	東温市	98,406	109,343	10,937	1.8	109,343	10,937	1.8
0	上島町	94,073	117,232	23,159	3.7	109,086	15,013	2.5
	久万高原町	108,664	98,717	<b>▲</b> 9,947	<b>▲</b> 1.6	98,717	<b>▲</b> 9,947	<b>▲</b> 1.6
0	松前町	91,253	112,527	21,274	3.6	105,818	14,565	2.5
0	砥部町	86,698	101,535	14,837	2.7	100,536	13,838	2.5
	内子町	104,145	101,735	<b>▲</b> 2,410	▲ 0.4	101,735	<b>▲</b> 2,410	▲ 0.4
	伊方町	98,698	102,416	3,718	0.6	102,416	3,718	0.6
	鬼北町	86,658	87,308	650	0.1	87,308	650	0.1
0	松野町	68,106	99,458	31,352	6.5	78,977	10,871	2.5
	愛南町	97,801	89,933	<b>▲</b> 7,868	<b>▲</b> 1.4	89,933	<b>▲</b> 7,868	<b>▲</b> 1.4
ē.	愛媛県	94,077	104,716	10,639	1.8	103,781	9,704	1.6

- ○28年度が、制度改革による保険料負担の変動を捕捉するための基準年(国の設定)
- ○17市町が増加、3市町が減少
- ○8市町が激変緩和措置の対象

#### 【注意】

- ○全国で約1,700億円の公費を全額反映
- ○市町ごとの年齢調整後の医療費水準、所得水準等を反映
- 〇保険料水準が1年当たり2.5%を超えて増加する市町に対しては、超過部分を減額する激変緩和措置を実施(激変緩和用の国費及び県特例基金を活用)
- ○28年度、R4年度とも、決算補填目的の法定外繰入等を行っていない場合の額、法定の 保険料軽減分を減算する前の額に揃えて比較
- ○28年度の実際の保険料額は、決算補填目的の法定外繰入等により、上記水準よりも低く 抑えられている場合あり
- OR4年度の実際の保険料額(料率)は、上記の算定結果などを踏まえ、今後、各市町において決定

#### 標準保険料率(令和4年度)

市町		区分	市町村標準保険料率 (3方式)				市町村の算定基準に基づく標準保険料率 (3・4方式)				
			所得割率	資産割率 (%)	均等割額 (円)	平等割額 (円)	所得割率 (%)	資産割率 (%)	均等割額 (円)	平等割額 (円)	
		医療分	8.10		33,493	22,860	10.89		26,884	18,89	
1	松山市	後期分	2.51		10,094	6,889	3.37		8,126	5,71	
		介護分	2.23		11,348	6,116	3.01		8,451	5,57	
	-	医療分	6.67		27,587	18,829	7.38	16.51	18,271	23,01	
2	今治市	後期分	2.50		10,031	6,847	2.85	5.61	7,012	7,22	
		介護分	2.20		11,221	6,047	2.35	5.37	7,942	6,92	
0	<b>中和自士</b>	医療分	6.78		28,037	19,136	6.74	31.31	22,083	18,60	
3	宇和島市	後期分	2.54		10,183	6,950	2.44	11.32	7,997	6,70	
		介護分 医療分	2.25		11,495 32,388	6,195 22,106	1.91 8.16	13.41 17.91	9,942 22,842	6,04 27,5	
4	八幡浜市	後期分	7.84 2.50		10.029	6.845	2.77	7.30	6,563	7,6	
7	八個八八	介護分	2.30		11,248	6.062	1.96	3.82	9,577	7,0	
		医療分	7.62		31.515	21.510	9.52	3.02	26,807	17,60	
5	新居浜市	後期分	2.54		10,184	6,951	3.09		8,721	5,7	
-	WINDOW !	介護分	2.26		11,523	6,210	2.86		9,619	4,67	
		医療分	7.75		32,040	21,868	8.89	20.19	24,071	18,32	
6	西条市	後期分	2.56		10,255	6.999	2.71	6.42	8,001	6,19	
		介護分	2.22		11,345	6,114	2.43	6.64	8,841	4,55	
		医療分	7.63		31,549	21,533	7.43	32.94	26,752	18,27	
7	大洲市	後期分	2.48		9,943	6,786	2.34	10.36	8,479	5,79	
		介護分	2.19		11,187	6,029	1.88	12.28	9,897	4,94	
		医療分	7.44		30,763	20,997	8.27		23,834	26,32	
8	伊予市	後期分	2.45		9,819	6,702	2.66		7,752	8,55	
		介護分	2.17		11,049	5,955	2.30		8,785	6,57	
		医療分	7.84		32,410	22,121	7.42	25.17	28,580	19,27	
9	四国中央市	後期分	2.52		10,132	6,916	2.34	7.94	8,983	6,05	
		介護分	2.18		11,092	5,978	2.04	10.50	9,504	4,60	
		医療分	7.17		29,625	20,220	7.85	23.67	19,196	23,52	
10	西予市	後期分	2.49		10,013	6,834	2.58	12.53	6,149	8,36	
		介護分	2.20		11,194	6,033	2.26	9.72	6,968	7,25	
	<b>丰</b> 油士	医療分	8.14		33,632	22,955	10.53		27,594	19,63	
11	東温市	後期分	2.51 2.21		10,079	6,879	3.23		8,340	5,84	
		介護分 医療分	7.75		11,254 32,016	6,065 21.852	3.13 8.35	49.10	8,503 21,528	4,32 23,72	
12	上島町	後期分	2.42		9,729	6.640	3.18	11.62	5,041	6,42	
12	ᅩᇏᆈ	介護分	2.42		10.963	5,908	2.12	9.53	8.707	6,59	
		医療分	8.19	$\overline{}$	33,838	23,095	10.12	25.24	22.182	25,38	
13	久万高原町	後期分	2.51		10,071	6,874	2.79	3.71	7,135	8,85	
	y (1)	介護分	2.20		11,197	6,034	1.93	3.85	10,484	5,99	
		医療分	7.70		31,808	21,710	9.51	5.00	24.259	22,83	
14	松前町	後期分	2.49		9,977	6,810	2.99		8,089	6,96	
		介護分	2.20		11,234	6,054	3.09		8,143	5,10	
		医療分	7.21		29,812	20,348	8.42		25,721	17,84	
15	砥部町	後期分	2.48		9,950	6,791	2.90		8,641	5,99	
		介護分	2.17		11,046	5,953	2.55		9,523	4,66	
		医療分	7.40		30,603	20,887	7.20	32.53	23,858	19,12	
16	内子町	後期分	2.51		10,074	6,876	2.51	11.23	7,709	5,89	
		介護分	2.23		11,394	6,141	1.89	12.94	9,836	4,80	
	l <u>.</u> .	医療分	7.29		30,146	20,575	7.98	49.05	17,468	20,2	
17	伊方町	後期分	2.55		10,221	6,976	2.83	12.61	6,847	5,63	
		介護分	2.18		11,134	6,000	2.47	9.93	7,210	4,9	
4.0	ᇤᆀᅡᆕ	医療分	6.46		26,712	18,232	7.24	24.08	16,340	18,5	
18	鬼北町	後期分	2.49		9,990	6,818	2.71	10.37	7,122	5,6	
		介護分	2.15		10,953	5,903	2.28	8.07	7,969	4,4	
10	±// ⊞≼ m−	医療分	6.38		26,374	18,001	6.61	28.80	17,687	20,6	
19	松野町	後期分	2.52		10,126	6,911	2.54	10.01	7,311	7,7	
		介護分	2.22		11,312	6,096	2.13	7.43	8,682	6,1	
			6.53		26,977	18,413	6.87	29.82	16,916	22.10	
20	愛南町	医療分 後期分	2.54		10,192	6,956	2.75	9.48	6,469	23,18 8,68	

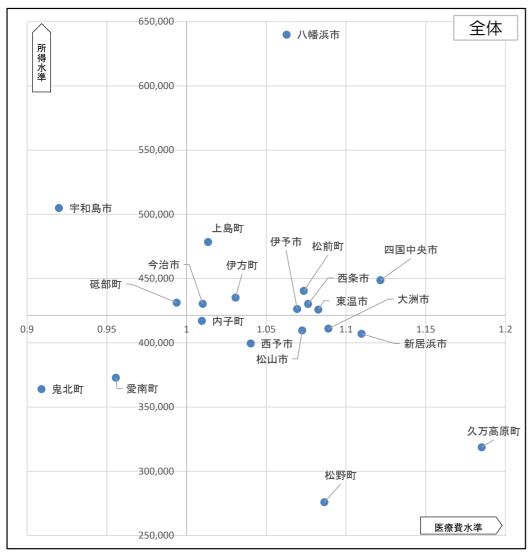
<sup>□「</sup>市町村標準保険料率」は、県内統一の方式により、保険料必要額を確保するための料率を算定したもの□

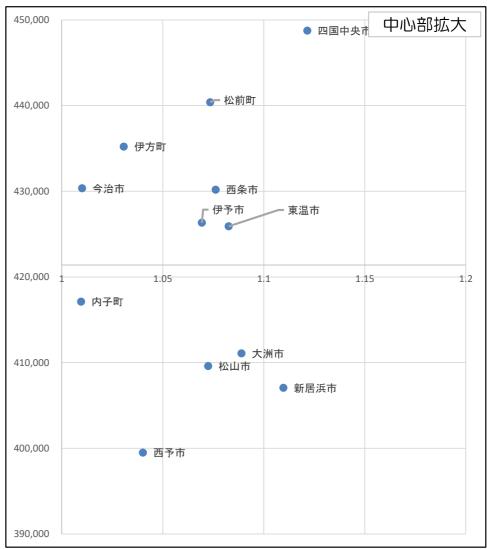
〇「市町村の算定基準に基づく標準保険料率」は、各市町が現状で採用している方式により、保険料必要額を確保するための料率 を算定したもの

#### 【四象限図】(医療費水準及び所得水準)

市町村標準保険料率の算定に使用した基本情報(本算定)のデータから、納付金配分において使用される各市町の医療費指数(横軸)と一人あたり所得金額(縦軸)をプロット。

XY軸の交点(R4本算定)				
医療費指数(全国水準)	1.0000			
1人あたり所得額(県平均)	429,315			





参考(令和3年度納付金等算定結果)

#### 1人当たり保険料必要額の基準年(H28年度)との比較

激変		28年度	激変	を緩和措置な	L	激変緩和措置(一定割合2.8%)			
₩ 級 級 級 和	市町名	(基準年)	R3年度	変動額	単年伸び率	R3年度	変動額	単年伸び率	
対象		(円)	(円)	(円)	(%)	(円)	(円)	(%)	
		1	2	2-1		②'	<u>②'-①</u>		
0	松山市	91,332	106,842	15,510	3.2	104,857	13,525	2.8	
	今治市	95,166	101,010	5,844	1.2	101,010	5,844	1.2	
	宇和島市	97,501	103,580	6,079	1.2	103,580	6,079	1.2	
	八幡浜市	111,991	126,153	14,162	2.4	126,153	14,162	2.4	
	新居浜市	93,150	103,481	10,331	2.1	103,481	10,331	2.1	
	西条市	94,977	104,676	9,699	2.0	104,676	9,699	2.0	
	大洲市	97,666	105,623	7,957	1.6	105,623	7,957	1.6	
0	伊予市	88,253	107,746	19,493	4.1	101,324	13,071	2.8	
	四国中央市	99,593	109,675	10,082	1.9	109,675	10,082	1.9	
0	西予市	84,024	100,035	16,011	3.5	96,465	12,441	2.8	
	東温市	98,684	109,245	10,561	2.1	109,245	10,561	2.1	
0	上島町	94,285	112,790	18,505	3.6	108,248	13,963	2.8	
	久万高原町	109,037	101,875	<b>▲</b> 7,162	<b>▲</b> 1.3	101,875	<b>▲</b> 7,162	<b>▲</b> 1.3	
0	松前町	91,563	113,056	21,493	4.3	105,124	13,561	2.8	
0	砥部町	87,010	103,789	16,779	3.6	99,896	12,886	2.8	
	内子町	104,244	100,044	<b>4</b> ,200	▲ 0.8	100,044	<b>4</b> ,200	▲ 0.8	
	伊方町	99,334	106,623	7,289	1.4	106,623	7,289	1.4	
	鬼北町	87,141	89,199	2,058	0.5	89,199	2,058	0.5	
	松野町	69,294	76,109	6,815	1.9	76,109	6,815	1.9	
	愛南町	97,860	95,572	▲ 2,288	▲ 0.5	95,572	<b>▲</b> 2,288	▲ 0.5	
5	愛媛県	94,204	105,534	11,330	2.3	104,299	10,095	2.1	

- ○28年度が、制度改革による保険料負担の変動を捕捉するための基準年(国の設定)
- ○17市町が増加、3市町が減少
- 〇6市町が激変緩和措置の対象

#### 【注意】

- ○全国で約1,700億円の公費を全額反映
- ○市町ごとの年齢調整後の医療費水準、所得水準等を反映
- 〇保険料水準が1年当たり2.8%を超えて増加する市町に対しては、超過部分を減額する激変緩和措置を実施(激変緩和用の国費及び県特例基金を活用)
- ○28年度、R3年度とも、決算補填目的の法定外繰入等を行っていない場合の額、法定の 保険料軽減分を減算する前の額に揃えて比較
- ○28年度の実際の保険料額は、決算補填目的の法定外繰入等により、上記水準よりも低く 抑えられている場合あり
- OR3年度の実際の保険料額(料率)は、上記の算定結果などを踏まえ、今後、各市町において決定

# 《標準保険料率(令和3年度)》

1 1	市町	区分	市町村標準保険料率 (3方式)				市町村の算定基準に基づく標準保険料率 (3・4方式)			
1 1			所得割率 (%)	資産割率 (%)	均等割額 (円)	平等割額 (円)	所得割率	資産割率 (%)	均等割額 (円)	平等割額 (円)
1   1		医療分	7.90		32,597	22,462	10.31		26,109	18,555
+	松山市	後期分	2.61		10,533	7,258	3.43		8,459	6,012
		介護分	2.28		11,715	6,319	2.96		8,669	5,723
2 今治市	۸ <b>۱</b> ۸ +	医療分	7.15		29,538	20,354	7.64	17.21	19,329	24,140
	今冶巾	後期分	2.61		10,516	7,246	2.88	5.72	7,252	7,407
		介護分 医療分	2.28 6.67		11,669 27,526	6,294 18,967	2.33 6.27	5.30 29.77	8,158 21.527	7,058 18,485
3 5	宇和島市	後期分	2.65		10,679	7.358	2.43	11.50	8,327	7,151
٦	丁和岛山	介護分	2.03		11,845	6.389	1.79	12.98	10,114	6,193
		医療分	7.71		31,849	21,946	7.98	15.17	22,193	26,928
4	八幡浜市	後期分	2.60		10,484	7,224	2.85	6.92	6,790	7,999
		介護分	2.28		11,673	6,296	2.10	2.99	9,514	6,967
		医療分	7.73		31,912	21,990	9.51		27,152	18,015
5 \$	新居浜市	後期分	2.52		10,163	7,003	3.03		8,686	5,763
$\perp$		介護分	2.32		11,905	6,421	2.92		9,879	4,795
	]	医療分	7.61		31,426	21,655	8.54	18.87	23,860	18,340
6	西条市	後期分	2.65		10,682	7,361	2.75	6.34	8,397	6,571
+		介護分	2.28		11,675	6,297	2.50	6.61	9,128	4,720
7	大洲市	医療分 後期分	7.78 2.57		32,133 10,371	22,142 7,147	7.49 2.41	34.57 11.09	27,132 8,796	18,714 6,067
′   ′	רוו ויייאר	依期分 介護分	2.57		11,525	6,216	1.93	13.23	10,082	4,990
-		医療分	7.25		29.940	20,631	7.97	10.20	23,754	26,171
8 1	伊予市	後期分	2.53		10,217	7,040	2.73		8,246	9,083
		介護分	2.21		11,356	6,125	2.41		9,211	6,917
		医療分	7.94		32,797	22,600	7.43	24.56	28,841	19,811
9	四国中央市	後期分	2.63		10,596	7,301	2.42	8.00	9,362	6,430
		介護分	2.25		11,530	6,219	2.20	10.81	9,790	4,811
		医療分	6.91		28,510	19,645	7.62	21.41	18,623	21,541
10	西予市	後期分	2.58		10,405	7,170	2.66	12.13	6,386	8,201
_		介護分	2.27		11,627	6,271	2.32	8.92	7,103	7,291
11 ]	市泊古	医療分 後期分	7.96 2.61		32,848 10,536	22,635 7,260	10.34 3.41		25,963 8,393	18,344 5,840
''  *	東温市	介護分	2.01		11,626	6,270	3.41		8,623	4,401
_		医療分	7.45		30,751	21,190	7.83	47.31	19,899	22,425
12 .	上島町	後期分	2.57		10,345	7,129	3.31	12.48	5,097	6,718
		介護分	2.29		11,723	6,323	2.08	10.55	8,975	6,703
		医療分	8.43		34,823	23,996	10.57	53.09	20,445	24,217
13	久万高原町	後期分	2.61		10,530	7,256	2.84	8.35	7,353	9,071
_		介護分	2.24		11,506	6,206	1.38	9.27	12,341	6,716
	松前町	医療分	7.47		30,847	21,256	9.21		23,099	21,572
14   1		後期分の難ハ	2.60		10,497	7,233	3.15		8,363	7,142
+		介護分 医療分	2.28 7.06		11,689 29,153	6,305 20,089	3.24 8.24		8,172 24,940	5,032 17,806
15 ł	砥部町	後期分	2.60		10,478	7,220	3.06		9,007	6,430
.   '		介護分	2.00		11,511	6,208	2.77		9,753	4,951
+	内子町	医療分	7.16		29,552	20,364	7.08	29.39	23,209	18,542
16 F		後期分	2.67		10,761	7,415	2.72	11.23	8,291	6,326
		介護分	2.35		12,039	6,493	2.15	12.78	10,260	4,971
T		医療分	7.50		30,955	21,330	8.03	48.63	18,679	20,769
17 1	伊方町	後期分	2.65		10,690	7,366	2.89	12.70	7,451	5,885
+	鬼北町	介護分	2.24		11,483	6,193	2.54	9.88	7,509	5,203
10		医療分	6.65		27,455	18,919	6.82	24.69	18,118	19,634
18 5		後期分	2.61		10,516 11,227	7,246 6,055	2.58	10.74 8.68	7,992 9,095	6,011 4,842
+	松野町	介護分 医療分	5.88		24,270	16,724	6.34	22.85	16,322	19,356
19 1		後期分	2.62		10,572	7,285	2.76	9.02	7,628	8,161
1	,→≠1 ~1	介護分	2.02		11,744	6,334	2.74	8.35	8,526	6,269
+		医療分	6.96		28,734	19,800	7.19	30.91	17,850	24,725
20 3	愛南町	後期分	2.65		10,677	7,357	2.82	9.64	6,703	9,035
		介護分	2.30		11,795 険料必要額を研	6,362	2.50	7.06	7,239	6,693

〇「市町村標準保険料率」は、県内統一の方式により、保険料必要額を確保するための料率を算定したもの 〇「市町村の算定基準に基づく標準保険料率」は、各市町が現状で採用している方式で、保険料必要額を確保するための料率を算定したもの